社協だより
しらいわ
第4号
《編集・発行》
白岩地区社会福祉協議会
会長　鈴木文夫

みんなで声がけ、明るい町づくりを

白岩地区社会福祉協議会
会長　鈴木文夫

地域の皆々様方には、日頃より白岩地区社会福祉協議会の事業活動に対し、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染が始まって、早いもので四年にもなり、少し落着いてきたようにも思われますが、まだ、油断のできない状態が続いている昨今です。気をゆるめないで対策を十分にとり、生活をしてください。

白岩地区だけの問題ではありません。後期高齢者だけの生活、又は、高齢者の一人暮し、空屋の問題、一人暮しの「孤独」「孤立」死、早く発見すれば助かったかもしれません。日頃友達同志でお茶会をしたり、サークル「サロン会、ボランティア活動」等に入り有意義に過ごしていたなら、他の人が早めに気付いてくれたかも…近年、寒河江市社会福祉協議会で、力を入れている「地域見守りネットワーク」の大切さを、しみじみと感じます。

また、自然災害について、今年初めに起きた、石川県能登半島の地震、いつ起きるか分からない地震、みなさん寒河江村山地方にも地震破砕帯が通っていることをご存知ですか？たまには、家族で地震時の避難行動について話し合ってみてはいかがでしょうか。

日常生活の中で何か変わったこと、心配事が有りましたら、まず、町会長さんや、民生委員、地域福祉推進員の方に、ご連絡ご相談して下さい。一人で考え込まず、行動することが大切です。

健康で生き甲斐を持って安心して生活のできる町作りが、大事かと思います。

本年度も、各町会の敬老会等、多少ではございますが、助成をさせていただきます。

令和6年度白岩地区社会福祉協議会　事業計画

1．地域住民の福祉を高めるため、住民参加体制の下に『ふれあい』『おもいやり』の輪を広げ、ぬくもりと活力のある、まちづくりを推進する。

2．運動展開のため、地域内の諸団体が連携し、出会いや交流の場を広げる。

【主な活動計画】

（1）白岩地区社会福祉協議会　総会
（2）町会長、民生委員児童委員、地域福祉推進員の三者会談
（3）地域見守りネットワーク事業へ協力
（4）民生委員児童委員と保育園・小学校・中学校の懇談会
（5）学童保育「さくらっこクラブ」へ協力（月1回の定例会出席、各種行事に参加）
（6）地区社協委員の研修会
（7）福祉活動へ助成（各町会、老人クラブ、各種サロン）
（8）ボランティア活動（介護施設、保育園等へ清掃奉仕）
（9）赤い羽根共同募金の法人・大口募金活動
（10）歳末たすけあい運動募金の配分委員会
（11）社協だより「しらいわ」第4号の発行、配付

「つどい」の大切さ

白岩地区町会長連合会
会長　菖蒲　清一

昨年の新町町会では、コロナ感染防止のため、町内の皆さんが集まる行事はほとんど中止しなければなりませんでした。

そんな中、観音様の夏祭りだけは、規模を縮小しながらも実施することができました。大人も子どもも、お祭りの半纏とハチマキを身につけ、御神輿を担ぎながら町内を一周しました。子どもたちが御神輿を担いだ時は、重そうにしながらも、楽しそうな笑顔を見せてくれました。神輿行列を見送る皆さんにも楽しんで頂けたものと思います。

また、子ども会の親子全員で、観音様に参拝して頂きました。今どきの子ども達ですから、初めて観音様に登ったという子どももいたかもしれません。コロナ前までは、観音堂の前で、「奉納子ども相撲大会」を毎年実施していたのですが、昨年は4年ぶりに「子ども会の参拝」を実施することができました。親子でどんなお願いをしたのでしょうか。

町内の皆さんや子ども達が同じ場所に集まり、ひと時を過ごすことの大切さを改めて感じさせられた瞬間でした。

今年は老人クラブの皆さんが先頭に立って、観桜会を開催しておられます。若い衆も負けてはいられません。一度ストップしてしまったものを再び動かすのは容易ではありませんが、若い衆の知恵と力を借りて町内行事を再始動できればと考えています。

さて、社会福祉協議会の活動を見ると、各地区の民生委員や福祉推進員の皆様が、ひとり暮らしの方々などを定期的に訪問し、様子確認等をして頂いています。心から感謝申し上げます。

町会長として、今後の三者会談の内容を少しずつ充実させて、きめ細やかな対応がとれるよう進めていければと思っています。

地域に開かれた施設に

特別養護老人ホーム
しらいわ
施設長　板垣　昌紀

平成十八年の開所以来、地域の皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

昨年の五月のコロナウイルス感染症の位置づけが五類へ移行されてから、皆様の意識と共に世の中の動きが大きく変わってきたと感じられます。

時期を同じくして、私ども社会福祉法人悠々会でも豊岡志保理事長が就任し、新たな理念として、

「一・地域コミュニティの構築」
「二・心理的、安全性の確立」
「三・医療との連携」

の三つの柱が掲げられました。

特別養護老人ホームしらいわでは、長期入所百床、デイサービス定員三十名、居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）の三事業を運営しております。

長期入居部門では、今年度の取組としてリハビリ活動に力を入れたいと思っております。

専門職を配置し、本人の希望又はご家族からの相談、さらには医療機関からの転所の際に継続したリハビリ訓練ができるように支援してまいります。

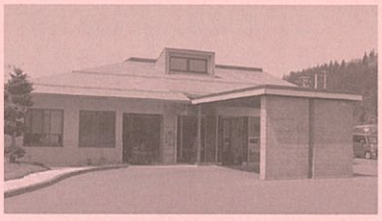
デイサービス部門では、機能訓練に特化して多様な機器を使用してのリハビリテーションを実施しております。

さらに、レクリエーション活動においても屋外での活動を充実すべく、農園での野菜作り収穫作業や近隣の観光地へのバスハイクを実施。屋内活動では、集団での創作活動、調理活動、各個人の希望に沿った様々なレクリエーション活動を実施して楽しんでおります。

居宅介護支援事業所部門では、介護の相談や支援が必要な時は遠慮なく駆け込める地域の拠点（相談所）を目指しております。

通って楽しい、住んで安らげる施設になるように職員一同精励いたします。

いつでもご相談や施設見学を承りますので、ぜひお声をかけてください。



特別養護老人ホーム　しらいわ

推歯活（おしかつ）のすゝめ

医療法人社団 土田歯科医院
副院長 土田　健太郎

皆さんは歯科医院に定期的に通われていますか？昨今「歯医者さんで定期的に診てもらいましょう」ということはいろんな場面で言われていますが、それはなぜでしょうか？今回は、私の推し活、歯科定期受診のすゝめについてお話ししたいと思います。

2022年の内閣の方針の中に「国民皆歯科検診」が示されました。現在は１歳半、３歳の乳幼児、小学校から高校生までは歯科検診を受けることが義務化されています。しかし、大学生や社会人以降は義務化されておらず、歯周病をはじめとする歯のトラブルの増加が社会問題化しています。さらには、メタボリックドミノという生活習慣病（肥満、高血圧、高コレステロール、高血糖など）のドミノ倒しの始まりには「むし歯」と「歯周病」が位置付けられているくらい、お口の健康が全身の健康に関与することが明らかになってきました。つまり、子どもだけでなく大人も含めた「全国民が健康を守るためには定期的に歯科受診することが必要」ということを国の政策として打ち出し、2025年からの導入を目指しています。

また、皆さんは毎日の口腔清掃にどんな口腔ケア用品を使い、それをどこで購入しているでしょうか。ドラッグストアに行けば、数えきれない多くの種類の歯ブラシや歯みがき粉が販売されています。では、皆さんは何を理由にその中から口腔ケア用品を購入しているでしょうか。

3300分。これは何の数字でしょう？１年間のうち毎日の歯磨きにかける時間３分×３回×365日＝3285分でおよそ3300分。一方、歯医者さんに３ヶ月に１回通ってクリーニングを受けた場合は60分×４回（日）＝240分。じつに3000分＝50時間以上も差があります。それだけの時間を費やすのに使用する口腔ケア用品をドラッグストアでなんとなく決めていないでしょうか。歯科医院で口腔衛生指導のプロフェッショナルである歯科衛生士に、あなたのお口にあった適切な口腔ケア用品を、正しい使用方法を含めて「処方」してもらうことをおすすめします。3300分のセルフケアと240分のプロフェッショナルケアが健康寿命の第一歩です。

自分の健康は自分で守る。生涯に渡り、自分の歯で食事し、大きな口で笑い、豊かな人生を送れるよう歯科医院を上手に活用しましょう。

地域福祉推進員となって

田代地区・地域福祉推進員
宮林　京子

高齢化が進む田代地区で、地域福祉推進員に選出されて一年が過ぎました。

私は、二名の方の一人暮らしの後期高齢者見守りを担当しています。

月二回の訪問をするにあたり、最初はとても不安でした。見守り活動において、何と声がけして、玄関の戸を開けたらいいのだろう。心の動揺を抑えながら

「おはようございます。〇〇さん、変わりはないですか？」

と、にこやかに言って、相手に安心感を与えるように心がけました。初めは、私の声がけに対して不安そうに返答するだけでしたが、一年間の見守りを通して、お互いに心を開いてコミュニケーションをとる事ができるようになったなあと感じています。

地域福祉推進員にならなければ、見守り対象世帯がある事に目を向ける事もなかったのかもしれません。まだまだ活動は始めたばかりですが、困った時に地域の中で相談できる存在である事や、更に高齢化が進むなかで、地域住民同士が、協力して生活できるような環境作りをお手伝いできたらいいなと思います。

私にできる事は小さな事かもしれません。地域の人達に意識を向け、寄りそう事で、孤独をなくし頼れる場所づくりを進めていけるように努力していきたいと思います。

地区社協研修

本道寺発電所見学（西川町）

多機能福祉施設「こもれび」（酒田市）

学校訪問（白岩小学校・陵西中学校）

授業参観

意見交換会

各町会見守りネットワーク　お気軽にご相談ください

令和６年度　白岩地区社会福祉協議会役員

役職名	氏　名	役職名	氏　名
会　長	鈴木文夫	常任委員	安孫子　啓
副会長	菖蒲清一	会計事務局	兼子健司
副会長	東海林　芙美子	監　事	佐藤暁美・設楽弘弥

町会名	町会長	民生児童委員	地域福祉推進員
陣ヶ峯	井上秀行	東海林　芙美子	井上博之
新町	菖蒲清一		土田邦彦 工藤芳弘 菊地　修
中町	安孫子　啓	鈴木正俊	大沼友勝 野尻紀美子
上町	中村雅伸		東海林　みゆき
梺	横山勘一	鈴木文夫	那須吉春 川口　進
上野	眞木敏朗	兼子健司	鈴木由美子 青木和加子
宮内	設楽弘弥		松田やす子 白岩寿美江
楯	佐藤明信	渡辺正則	菖蒲清美
留場	曳沼義明		奥山眞知子
田代	佐藤隆彦	佐藤秀光	佐藤千代子 宮林京子
幸生	菊地吉彦	菊地眞知子	菊地清廣 永井興生
主任児童委員		佐藤暁美・大沼真理子	